

PFC-FD療法の メリット

- 子宮内環境の改善が期待できる
- 患者さまのお体に合った治療でアレルギーリスクが少ない
- 室温長期保存ができるので急な治療スケジュール変更にも対応が可能

着床率UPにつながる 子宮内環境をケア

子宮内膜の厚さが7mm以下*の場合、胚が着床しにくいと言われています。PFC-FDを使用することにより、内膜を厚くする、炎症を抑えるなどの子宮内環境の改善が期待できます。

* 凍結融解胚の場合(新鮮胚移植の場合は8mm以下)
Human Reproduction, Vol.33, No.10 pp. 1883-1888, 2018

【子宮内膜の厚さによる比較】



着床しにくい

着床しやすい

※イラストはイメージです

よくあるQ&A

Q. 誰でも受けられる治療ですか？

A. 不妊治療中の18歳以上の患者さまが受けられる治療です。本治療の適応は主治医にご相談ください。

Q. どのクリニックでも受けられる治療ですか？

A. 特定のクリニックでのみ可能な治療です。詳しくは主治医までお問い合わせください。

Q. どれぐらいの費用がかかりますか？

A. 本治療は自由診療で、保険適用外です。詳しくは主治医までお問い合わせください。

Q. 副作用などはありますか？

A. 患者さまご自身の血液由来のものを用いるので、重篤な副作用は極めて少ないものです。

不妊治療を 受けている方へ PFC-FD療法のご案内

子宮内注入編

病院名・医師名／memo

にしたんARTクリニック神戸三宮院
(旧神戸ARTクリニック)

電話:078-261-3500

診察時間 平日9:00-20:00 土日9:00-16:00

 にしたんARTクリニック
神戸三宮院

ご自身の
血液由来成分でつくる
オーダーメイド治療

PFC-FD療法

PFC-FDは、PRP(多血小板血漿)に含まれる「成長因子」のみを抽出・濃縮し凍結乾燥させたもので、体内の組織修復・治癒などを促す因子濃縮物です。

ご自身の血液から、独自の技術で活性化させたPFC-FDを組成し活用する治療です。これによって子宮内環境を局所的にケアし、改善を促します。すでに、整形外科・歯科・皮膚科等、さまざまな分野でも使われ、効果が期待できるものです。患者さまひとりひとりに合わせた治療法です。

<成長因子のはたらき>

血小板に含まれる「成長因子」には、自己修復機能を促進するなど、子宮腔内の環境改善を期待できる「成長因子」が多数存在しています。

／主な成長因子／

TGF

細胞の増殖、
コラーゲン分泌の促進

VEGF

血管新生の促進、
血管内皮細胞の増殖

PDGF

細胞の増殖、
軟部組織修復の促進

EGF

上皮細胞の増殖、
血管新生の促進

血小板

IGF

細胞の増殖や
分化を促進

PFC-FD療法が選ばれる理由

低刺激・低リスクで
体にやさしい

患者さまご自身の血液を用いることにより、アレルギー反応や副作用といったリスクが少なく、添加剤や化学製品なども含まれておりませんので、体にやさしい治療といえます。

痛みが少なく
通院負担も最低限

メスを使わず、痛みも少ない治療です。採血後、子宮腔内に注入するのみですので、ART治療に過度な負担をかけることはありません。

長期保存を可能にした
特許製法

独自のフリーズドライ加工技術(特許)により、約半年間の保管ができます。周期などタイミングが重要なART治療にも併用しやすいものです。

<PFC-FD治療はわずか2STEP>

1 採血量は49ml

2 胚移植前に子宮腔内へ1~2回注入

専門機関の厳正管理で感染症リスクを回避

採血

約3週間で
完成

<ART治療スケジュール>

月経期

増殖期

排卵

分泌期

注入1回目

注入2回目